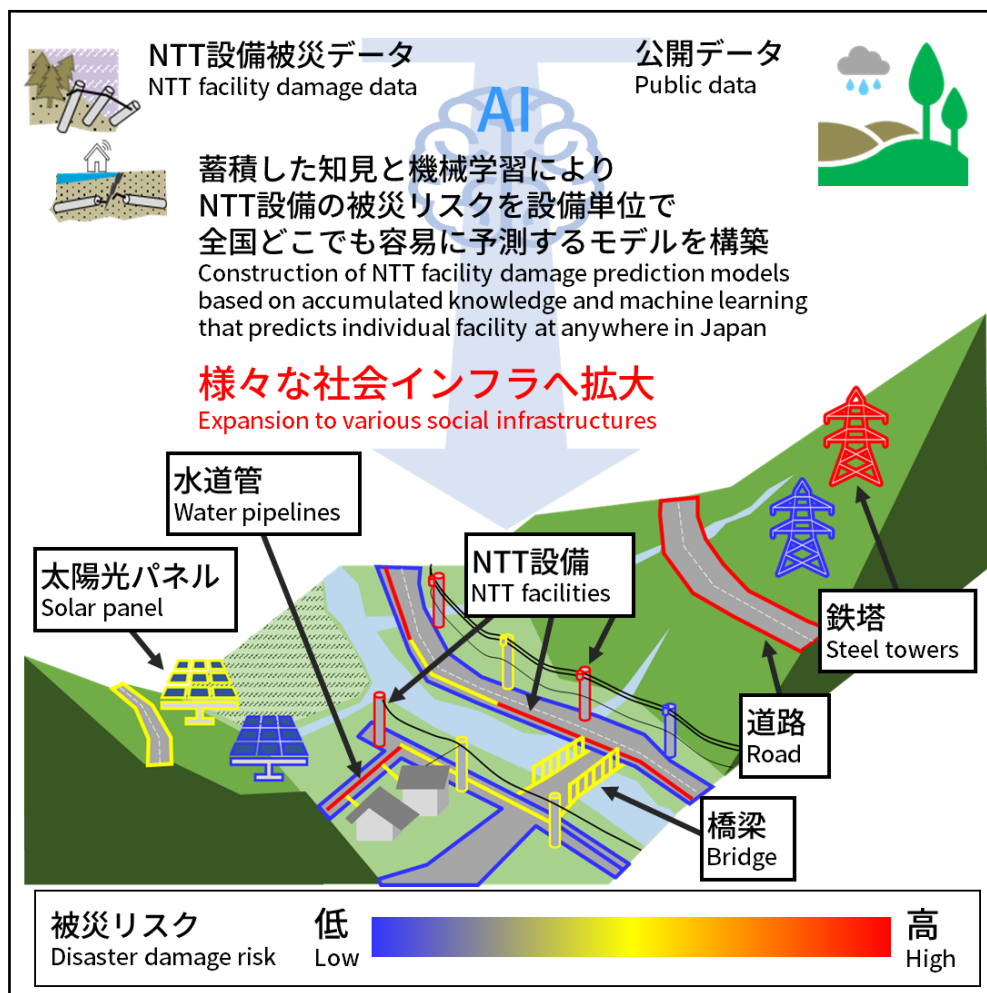


社会インフラの被災予測技術

インフラ事業者が、予測に基づく効果的な対策を行える
ことにより、サステナブルな社会を実現します

#レジリエンス #地方創生 #業務効率化



////技術課題

災害の激甚化により、さまざまなインフラにおいて
予測に基づいた対策を行う必要がありますが、広範
囲で効率的に予測を行うことができません。

////研究目標

定量化された被災リスクを用いた効果的な対策によ
り、大規模災害時でも途切れないライフラインを実
現し数千億円規模の損失額を低減します。

---要素技術

- NTTが全国で保有する設備被災データを活用
- 設備データと公開データ（雨量、標高など）に蓄積した知見を加えた機械学習により、被災予測に有効な因子を特定・活用

---市中技術差異点

- NTTが全国で保有する設備被災データの活用により、特別な調査なく全国どこでも予測可能
- いつでも取得可能な公開データを活用することで、平時だけでなく災害時も容易に予測可能

---適用ビジネス

水道業、運輸業（道路）、教育業（防災）分野において、定量化した被災リスクにより、平時の既設設備安全性評価、構造部設置時の被災リスク評価、災害対策立案、災害時の効率的な点検に加えて、災害時の安全な避難・物資輸送ルート選定など多面的な活用が可能（技術確立時期：2025年度）